



〒383-0031 中野市南宮 1-12 TEL22-2365 FAX22-4052 文責：教頭（川上 量広）
 e-mail nangu@nakano-ngn.ed.jp <http://nangu.nakano-ngn.ed.jp/>

令和4年度 南宮中学校

前期人権同和教育強調月間

1. 期日 6月8日(水)～7月8日(金)
2. 内容
 - 1 学年：参加体験型学習（ワークショップ）
 ・友だちづくりのエクササイズ ・友を見る目 ・ちがいのちがいの
 - 2 学年：参加体験型学習（ワークショップ）
 ・だまっちゃべって正方形 ・自分を伝える1・2・3
 ・4つのコーナー ・同じシール集まれ
 - 3 学年：部落差別の学習
 ・解放令 ・全国水平社 ・草つき穴 ・日野賞展覧会

前期人権同和教育強調月間

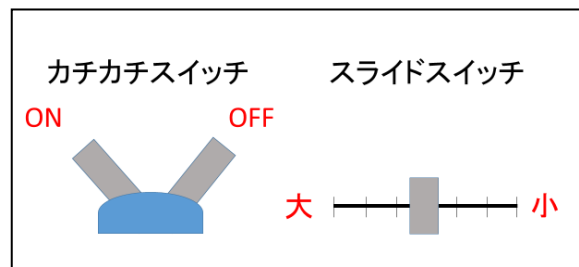
6月8日（水）より前期人権同和教育月間を行っています（7月8日（金）まで）。月間が始まるにあたり、6月8日（水）に校長講話が行われました。

「心をスライドスイッチに」

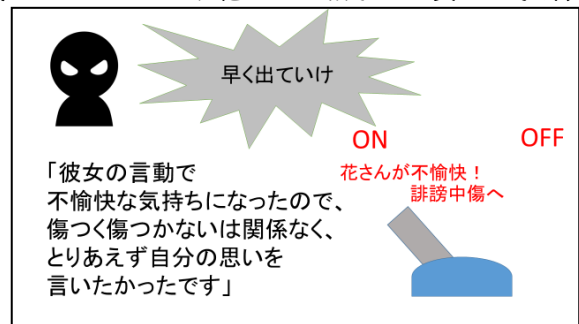
みなさん、おはようございます。今日から前期人権教育強調月間が始まります。人権感覚というのは、日頃から磨いていくことが大切ですが、月間のいろいろな取組を通して、自分を見返しながら人権感覚を更に高めてほしいと思います。

今日のお話は「心をスライドスイッチに」です。これは5月に下村健一さんという方の講演を聴く機会があり「とっても大切なことだな、ぜひ南宮中の生徒にも伝えたいな」と思ったので、その話を校長先生なりに整理してお話します。

まず2つのスイッチを紹介します。これはカチカチスイッチ、ONとOFFです。これはスライドスイッチ、家ではあまり見ませんが、明るさを変えたり、音の大きさを変えたりします。まず、「心をカチカチスイッチではなく、スライドスイッチに」とはどういうことなのかお話しします。



皆さんは木村花さんを知っているでしょうか。2年前、シェアハウスでの共同生活を記録する番組「テラスハウス」に出演していた女子プロレスラーの方です。番組内での彼女の言動に対してSNSでの誹謗中傷が相次いだことを苦にして、自ら命を絶ちました。まだ22歳の若さでした。誹謗中傷は人の命まで奪ってしまう恐ろしいものであると改めて感じました。「不愉快だ」「(番組から)出ていけ」「消えろ」、中には「死ぬ」といった言葉もあったそうです。実際にこの書き込みをした人にインタビューをした記事を見ました。「(花さんが)泣いてて笑える」と投稿した人は、「番組内で放送された事件(花さんのプロレスの衣装を、男性が誤って乾燥機にかけてしまい、花さんが相手を吐責した事件)は100%花さんが悪いと思っていました。その思ったことをそのままツイートしました」とのこと。「(投稿を読んだ花さんが傷つくことは)よぎりませんでした。考えていなかったです」。「早く出ていけ」と投稿した人は、「彼女の言動で不愉快な気持ちになったので、傷つく傷つかないは関係なく、とりあえず自分の思いを言いたかったです」。真実はよくわかりませんが、テレビの視聴率を上げるために、スタッフによる演出への誘導があったともいわれています。



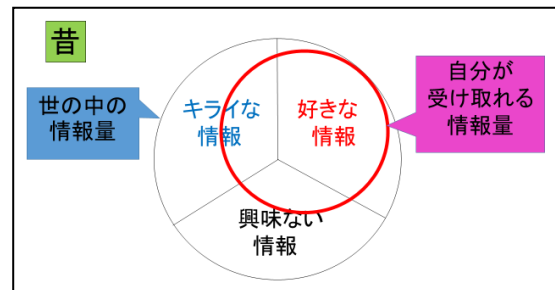
皆さん、校長先生はこれが「心がカチカチスイッチになっている」状態だと思えます。番組を見て、「許せない」と感じ（心がON）、SNSで攻撃的な言葉を送ってしまう。自分は正しいと信じ込んでいるので、何度でも相手が傷つく言葉を送ってしまう。

もしも心がスライドスイッチであれば、「花さんの態度もよくないな」「でもテレビだからこれが全てなのだろうか」「こんな言葉を自分が送られたらいやだな」と考え、もう少し違った行動がとれたのかもしれない。スライドスイッチとは1つの情報で決めつけずに、いろいろな情報から自分で考え判断するスイッチと言えるかもしれません。

でも、これは他人ごとではないのです。実は私たちも、「みんながこう言っているから」「まわりもやっているから」…だけで周囲と同じ考え方をしたり、行動をとってしまったりすることがありませんか。自分でしっかり考えて判断しない、つまりカチカチスイッチで動いている自分はいないでしょうか。時に、そういう場合に相手の人権を踏みこみにしてしまう行為につながるケースがあるのです。

さて、現代は心がカチカチスイッチになりやすい時代だといわれます。ここからはそれがどうしてなのか、いったいどうしたらいいのかを話します。

皆さん、この図を見て下さい。世の中の情報は大きく分けると「(自分の)好きな情報」「嫌いな情報」「興味ない情報」の3つに分けられます。赤い丸が出てきました。これは「自分が受け取れる情報量」です。「昔」(といってもほんの少し前)は、「好きな情報」を中心に「嫌いな情報」も「興味ない情報」も入ってきました。これが広く考えることにつながるのです。



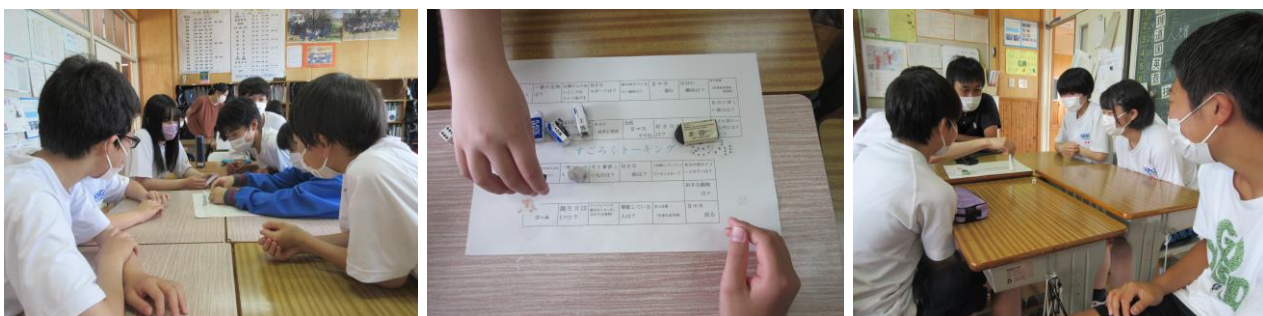
ところが「今」は赤い丸「自分が受け取れる情報量」はそんなには変わりません。しかし世の中の情報量が圧倒的に大きくなり、赤い丸が「好きな情報」だけで占められています。そうです、インターネットの進歩です。そうするとどうすることが起こるのか…自分の好みに合うのは○、そうでないのは×となります。わかりますか？心がカチカチスイッチになってしまうのです。深く考えず感覚で判断してしまうのです。

ではどうすればいいのでしょうか？ それは赤い丸をこの位置(円の中心)にもってくる努力をすることなのです。そのためには、いろいろな教科を学ぶこと、多くの友だちの考えに触れること、新聞や本をたくさん読むことなどがあげられます。いろいろな情報に触れて「そういう考え方もあるのか」「自分とは違う見方だ」と考えられるようになれば、それこそ心がスライドスイッチの状態になるのです。

これから前期人権教育強調月間が始まります。どうか友達のいろいろな考え方に触れながら、心のスライドスイッチを左右に動かし、自分で正しく判断できる人権感覚を磨いてほしいと思います。



【人権委員会企画「すごろくトーキング」より】



~~~~ お願いとお知らせ ~~~

- ◆例年より早い梅雨明けとなり暑い日もありますが、コロナ対応と熱中症対応のバランスが求められています。屋外(登下校時)や保健体育の授業・運動部活動(一部文化祭活動)では、マスクを外してもよいですが、近距離(2m以内)で会話を行う場合は着用しましょう。また、こまめに水分補給をしたり、諸事情でマスクを着用したい人に対して理解を示したりするなど、「正しい判断」と「優しさ」をもって「コロナ感染」も「熱中症」も予防していきましょう。
- ◆7月11日(月)より第2体育館屋根の改修工事が始まります。2体周辺の通路や自転車置き場等、使用できないところがありご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。